

いすみ市沖における先行事例の配慮書との比較表

		今回の対象事業		先行事例			
事業者名		三井物産株 RWE Renewables Japan合同会社 大阪ガス株 K&Oエナジーグループ株	株いすみ洋上風力発電	合同会社いすみ沖洋上風力	株グリーンパワーインベストメント	千葉洋上風力株 株レノバ	
第一種事業の名称		(仮称) いすみ市沖洋上風力発電事業	(仮称) いすみ沖洋上風力発電事業	(仮称) いすみ市沖洋上風力発電事業	同左	同左 (仮称) 千葉県いすみ市沖洋上風力発電事業	
手続状況		配慮書送付：R4.9	配慮書送付：R4.8	答申：R4.8	答申：R4.6	答申：R4.6 答申：R4.3	
事業の内容	事業実施想定区域（以下「想定区域」）	約9,590ha	約290km ² （約29,000ha）	約94km ² （約9,400ha）	約8,431ha	約86.9km ² （約8,690ha） 約10,500ha	
	環境影響を受けるおそれがあると判断される地域	勝浦市、いすみ市、一宮町、長生村、白子町、御宿町	いすみ市、一宮町、御宿町	同左	いすみ市、一宮町	同左	
	原動力の種類	洋上風力（着床式）	同左	同左	同左	同左	
	発電所の出力	最大495MW	最大696MW	最大564MW	最大630MW	最大500MW 最大450MW	
	風車のローター直径（ブレードの回転直径）	220m～240m	164m（9,500kW）～310m（20,000kW）	220m（12,000kW）～236m（15,000kW）	222m	最大240m 174m（9,500kW）～236m（15,000kW）	
	風車のハブ高さ	140m～150m	105m～180m	150m	150m	最大150m 110m（9,500kW）～154m（15,000kW）	
	風車の海面からの最大高さ	250m～270m	190m～335m	260m（12,000kW）～268m（15,000kW）	262m	最大270m 200m（9,500kW）～280m（15,000kW）	
	複数案の設定	規模	12,000kW～15,000kW×最大42基	①9,500kW×74基 ②12,000kW×58基 ③20,000kW×35基 ※①②③は想定される風力発電機基数	①12,000kW×47基 ②14,000kW×41基 ③15,000kW×38基 ※配置については、①②③のいずれかを対象とするが、規模決定後に検討する。	14,000kW×最大45基 ※配置については検討中。	①9,500kW×47基 ②15,000kW×30基 ※配置については、①②のいずれかを対象とするが、現在検討中。
		基礎構造	①モノパイル式、②ジャケット式、③重力式	①モノパイル式、②ジャケット式、③重力式	①モノパイル式、②ジャケット式、③重力式、④トリパイル式、⑤トリポッド式、⑥サクシオンバケット式	①モノパイル式、②ジャケット式	①モノパイル式、②ジャケット式 ③サクシオンバケット式、④重力式
		海底ケーブルの陸揚げ地点を含む地域	検討中	同左	同左	同左	同左
	工事等の拠点となる港を含む地域	検討中	同左	同左	同左	同左	
	想定区域から沿岸までの最短距離	3km	3km	3km	1.8km ※今後、3kmの離岸距離を確保する予定。	3km 3km	
想定区域及びその周囲の概況	自然的状況のうち特徴的事項	事業実施想定区域の周囲には、水深が20m前後の浅い岩礁群である「大原・太東沖の磯根（器械根）」が分布している。（p99）	事業実施想定区域及びその周辺における典型地形の状況は、九十九里浜、太東崎、大原・太東沖の磯根（器械根）等が存在する。（p66）	いすみ市周辺の海は、水深20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がる磯根（器械根）が存在（p213）	いすみ市の東方の海には、水深が20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がる「器械根」が分布する。（p193）	想定区域の東側には重要な漁場である器械根が存在する。（p305） いすみ市の東方海域には「いすみ根（器械根）」と呼ばれる水深20m前後の浅い岩礁群が沖合10km以上先まで広がっている。（p118）	
		「生物多様性の観点から重要度の高い海域」（平成28年4月環境省）が想定区域周辺に存在するものの、想定区域に含まれていない。	事業実施想定区域内には南房総国定公園及び生物多様性の観点から重要度の高い海域がある。	「生物多様性の観点から重要度の高い海域」（平成28年4月環境省）が想定区域周辺に存在するものの、想定区域に含まれていない。	同左	同左	同左

		今回の対象事業										先行事業															
	計画段階配慮事項の選定結果（表中の○の項目を選定）	工事の実施			土地又は工作物の存在及び共用			工事の実施			土地又は工作物の存在及び共用			工事の実施			土地又は工作物の存在及び共用			工事の実施			土地又は工作物の存在及び共用				
		工事前資材等の搬入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働	工事前資材等の搬入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働	工事前資材等の搬入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働	工事前資材等の搬入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働	工事前資材等の搬入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形変化及び施設の存在	施設の稼働	
	騒音					○									○												○
	振動																										
	水質（水の濁り）																										
	底質（有害物質）																										
	重要な地形及び地質																										
	その他（風車の影）																										
	動物（重要な種及び注目すべき生息地（海域に生育するものを除く））					○																					
	動物（海域に生息する動物）					○																					
	植物（重要な種及び重要な群落（海域に生育するものを除く））																										
	植物（海域に生育する植物）					○																					
	生態系（地域を特徴づける生態系）																										
	景観					○																					
	人と自然との触れ合いの活動の場																										
	廃棄物等（産業廃棄物）																										
	廃棄物等（残土）																										
	放射線の量																										
		濃い網掛けは主務省令別表第6に係る参考項目を示し、淡い網掛けは同別表第11に係る参考項目（放射性物質）を示す。																									
項目の非選定理由	○工事中（全項目） 工事計画の詳細は現時点で検討中	○工事中（全項目） 工事計画が定まっていない。			○工事中（全項目） 工事計画の詳細は現時点で検討中			○工事中（全項目） 工事計画の熟度が低い。			○工事中（全項目） 工事計画が定まっていない。																
	○存在・供用後 ・地形及び地質 想定区域に重要な地形及び地質は存在しない。	○存在・供用後 ・地形及び地質 器械根が存在するが、岩礁帯の直接変化は行わない。			○存在・供用後 ・地形及び地質 想定区域に重要な地形及び地質は存在しない。			○存在・供用後 ・地形及び地質 想定区域に重要な地形及び地質は存在しない。			○存在・供用後 ・地形及び地質 想定区域に陸域は含まれず、重要な地形及び地質は存在しない。			○存在・供用後 ・地形及び地質 想定区域に重要な地形及び地質は存在しない。													
	・風車の影 ローター直径は最大240mであり、風車の影の影響を受ける範囲はその10倍の距離（2.4km）だが、住宅等までの距離は3km以上あるため影響は及ばない。				・風車の影 風車の影による影響はローター直径の10倍（2.4km）の範囲と考えられるが、事業実施想定区域は海岸線から沖方向に3.0km程度離れているため。									・風車の影 ローター直径は最大236mであり、風車の影の影響を受ける範囲はその10倍の距離（2.4km）だが、住宅等までの距離は3km以上あるため影響は及ばない。													
	・植物（陸域） 陸域への風力発電機の設置は計画していない。	・植物（陸域） 陸域の大規模変化は行わない。			・植物（陸域） 想定区域に陸域は含まれず、施設の存在による直接的な変化はない。			・植物（陸域） 想定区域に陸域は含まれず、重要な種及び重要な群落は消失するおそれがない。			・植物（陸域） 想定区域に陸域は含まれず、重要な種及び重要な群落に重大な環境影響を及ぼすおそれがない。			・植物（陸域） 想定区域に陸域は含まれず、陸域の直接的な変化はない。													
	・生態系 種の多様性や種々の環境要素が複雑に関与し、未解明な部分も多い。	・生態系 藻場や岩礁性の海藻類が生育している場所の直接変化を行わない等、藻場や岩礁性の海藻類の保全に配慮した計画となっている。			・生態系 種の多様性や種々の環境要素が複雑に関与し、未解明な部分も多く、現時点では予測評価手法が確立されていない。			・生態系 種の多様性や種々の環境要素が複雑に関与し、未解明な部分も多い。			・生態系 種の多様性や種々の環境要素が複雑に関与し、未解明な部分も多い。			・生態系 種の多様性や種々の環境要素が複雑に関与し、未解明な部分も多く、現時点では予測評価手法が確立されていない。													
・人と自然との触れ合いの活動の場 想定区域に主要な人と自然との触れ合いの場が存在しない。	・人と自然との触れ合いの活動の場 人と自然との触れ合いの活動の場の消失等、重大な環境影響はない。			・人と自然との触れ合いの活動の場 想定区域に主要な人と自然との触れ合いの場が存在しない。			・人と自然との触れ合いの活動の場 想定区域に主要な人と自然との触れ合いの場が存在せず、消失するおそれはない。			・人と自然との触れ合いの活動の場 想定区域に主要な人と自然との触れ合いの場が存在せず、変更しない。																	